

第 12 期大学院部会の審議の方向性について

第 12 期で審議いただく事項の例

○人文科学・社会科学系の大学院の改革方向性

第 11 期の中間とりまとめに基づきつつ、中間とりまとめでは不足していた

- ・人文科学・社会科学系の学部学生に対する進路に係る意向調査
- ・大学院の好事例や産業界等からのヒアリング

を中心に進め、最終とりまとめに向けた議論を行う。

※制度としては令和 5 年度予算にて「人文・社会科学系ネットワーク大学院構築支援事業」を先行的に創設。

○今後の大学院教育の改革振興策について

今後の大学院教育プログラム支援方策の在り方について検討を行い、一定の方向性をまとめる。その際、卓越大学院プログラムにおける事業成果の検証を行いつつ、大学院における分野横断的な教育研究やリカレント教育の更なる推進、大学院における基幹教員の導入等に係る検討状況を踏まえながら、必要な要素を盛り込んでいくとともに、令和 7 年度概算要求につなげる。

○大学院におけるリカレント教育について

大学院におけるリカレント教育等について、産業界等からのニーズ把握や、上述の審議事項も踏まえた振興方策を検討する。

※制度としては令和 4 年度補正予算にて「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」を実施中。

○制度改正事項

- ・基幹教員の導入及び大学院における質保証システムの改善・充実について
大学院における基幹教員や質保証システムの在り方について検討を行う。

- ・入学前既修得単位を勘案した在籍期間の短縮について

教職大学院において、入学資格の有無にかかわらず入学前既修得単位を勘案した在籍期間の短縮を可能とする改正（令和 5 年 2 月 6 日の大学院部会でご審議いただいた事項）について、大学院及び他の専門職大学院においての扱いについて検討を行う。